

公共施設の適正配置について

砺波市行政改革市民会議報告

平成25年11月15日

砺波市行政改革市民会議

平成25年11月15日

砺波市長 夏野 修 殿

砺波市行政改革市民会議
会長 豊本 治

公共施設の適正配置について（報告）

砺波市行政改革市民会議では、昨年度職員で検討された「公共施設の適正配置」について意見を求められたことから、専門部会を設置して調査と審議を行ってまいりました。

この程その結果について報告があり、当会議で協議検討し、次のとおり意見を取りまとめましたので、報告いたします。

記

1 庄川若者の館のあり方

当該施設は、市による設置及び管理を行わない方向で整理することが妥当である。なお、現に施設を利用し、その存続を望む声があることに配慮し、次の点に留意すべきである。

- (1) 利用団体等には、趣旨を十分説明するとともに、可能な範囲で代替施設での活動ができるよう対応すること。ただし、代替施設において、過度に自由度の高い利用形態（時間延長など）を確保する必要はないとの意見がある。

代替施設としては、庄川ふれあいプラザ、庄川生涯学習センター、庄川農村環境改善センターなどが考えられる。

- (2) 財産については、地元地域の公共的団体等への移管等によって現利用形態を存続することなども含め、地域と十分に協議されたい。
- (3) 当該施設を拠点としている若者への活動支援については、新たなソフト支援を含め今後も継続されたい。

(提案事項)

上記2に関し、次のような方策も考えられるので、提案する。

- (1) 施設を地域の公共的団体等に移管し、同団体が自主的に管理運営を行う。（管理費用は団体の負担）

- (2) 団体は管理費用を確保するために、施設利用者から、利用料を徴収する。(利用者の負担)
 - (3) 管理団体が安定的運営を行うための経過措置として、市は、施設管理費用の一部を一定期間(2、3年程度)助成する。(市の負担)
- ※ 上記方策によっても引受団体がない場合は、適正な価格で売却することもやむを得ないものとする。

2 庄川まちかどギャラリー蔵のあり方

当該施設は、市による設置及び管理を行わない方向で整理することが妥当である。なお、現に施設を利用し、その存続を望む声があることに配慮し、次の点に留意すべきである。

- (1) 利用団体等には、趣旨を十分説明するとともに、可能な範囲で代替施設での活動が存続できるよう対応すること。
代替施設としては、砺波市美術館市民ギャラリー、庄川ふれあいプラザ、庄川生涯学習センター、庄川水記念公園などが考えられる。
また、庄川美術館内に一般の利用に供する「ギャラリー」などを設置することも検討されたい。
- (2) 財産については、自主的な管理を前提に、地元地域の公共的団体等への移管等によって地域での公共的利用を図ることなども含め、地域と十分に協議されたい。

3 庄川民芸館のあり方

当該施設は、民芸品等の収蔵庫として活用する方向で整理することが妥当である。

なお、当該施設の老朽度は低く、再利用は十分に可能であり、その立地環境(施設からの眺望等に魅力がある等)も優れていることから、将来的には、他の用途(民間による利活用を含む。)で活用する方法も検討すべきである。

4 出町児童センター、東山見児童館、青島児童館、種田児童館、(雄神児童館)の方向性

- (1) 当該施設については、「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」などの放課後対策等を含め、総合的な子育て支援制度等の方針をできるだけ早く整備し、その中で、施設の統合、新施設の建設、他制度の活用による代替などを検討すべきである。

- (2) 上記方針のもとに、検討対象とした4施設については、その老朽化、利用の実態等の課題が多いことから、統合、再編又は廃止の方向で整理することが妥当である。

5 勤労青少年ホームの方向性

当該施設は、施設の未耐震、老朽化、砺波まなび交流館の整備状況等を踏まえ、できるだけ早い時期にその機能を砺波まなび交流館に統合する方向で整理することが妥当である。

また、統合後は、当該施設を取り壊して駐車場化し、砺波まなび交流館の駐車場不足の解消を図ることが望ましい。

なお、統合にあたっては、利用団体（特にとなみ野サロンのまなびや友の会）等に対し、その趣旨を十分説明し、その理解を求める必要がある。

6 庄川勤労者体育センターの方向性

- (1) 当該施設は、隣接するやまぶき荘や庄川パットゴルフ場などの施設を含めた一体的なレクリエーションゾーンの一つとして捉え、これらゾーン全体の整備の方向性をできるだけ早く検討すべきである。
- (2) 1の方向性に適合するように、勤労者体育センターを含め各施設は、その施設の存続を含め施設の活用を検討すべきである。また、管理の一元化も図られるよう提案する。

以上